

駒澤大学所蔵コレクション展

禅 ZEN —描かれた禅の世界—

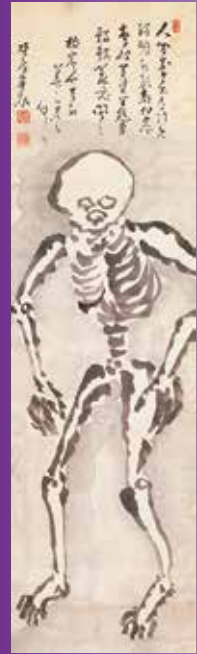
東京都世田谷区にある駒澤大学。その始まりは戦国時代にまでさかのぼります。文禄元年（1592）、禅の実践と仏教の研究、漢学の振興を目的として水道橋にあった禅寺・吉祥寺に学林が設立されました。その後、学林は「^{せんだんりん}旃檀林」と命名され、明治時代以降には曹洞宗大学林専門学本校や曹洞宗大学などと変遷し、大正14年（1925）に現在の「駒澤大学」と改称しました。設立から400年余りの伝統を受け継いでいます。

構内には、開校120周年を記念して開設された禅文化歴史博物館があり、禅の文化と歴史を伝える展示を行なっています。学内・曹洞宗門のみならず広く地域社会の文化進展に寄与しています。

本展では、駒澤大学が所蔵する禅画のなかから、タテヨコ約2m余りに及ぶ大涅槃図をはじめ、^{わはんず}白隠慧鶴や^{せんがいぎぼん}仙厓義梵など著名な禅僧たちが描いた禅画27点を一堂に会して紹介致します。



「高祖道元禪師行跡図」



巨海東流「骸骨図」



聯山祖芳「白衣観音図」



大円仏通「樺図」



無学愚禅「達磨図」



寂室堅光「六祖碓房図」



白隠慧鶴「福祿寿図」



仙厓義梵「富士見西行図」



交通案内

- JR鶴岡駅よりバス10分「致道博物館前」下車
- 山形自動車道鶴岡I.C.より車で5分
- 庄内空港より車で20分

「涅槃図」部分

菩提達磨より脈々と受け継がれた禅。その教えは、**栄西**や**道元**により日本へ伝えられ、禅宗は全国各地に展開しながら、**地域文化**のなかに根付いた。

禅は、茶道や華道、能楽などへも影響を与え、なかでも**水墨画**は禅の精神、教義に通じた。

はじめは余技として描かれた水墨画であった。しかし、やがて余技には収まらない絵画が生み出され、人々の心を満たした。

展覧会関連イベント

①記念講演「禅と地域社会」

講師：駒澤大学学長 廣瀬 良弘 氏
 日時：6月11日（土）14時～16時
 場所：東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール
 料金：資料代として300円いただきます。
 定員：120名（要申込み・先着順）
 ※ 電話か当館受付へ直接お申し込みください

②列品解説

日時：6月18日（土）14時～15時
 講師：駒澤大学禅文化歴史博物館 学芸員 塚田 博 氏
 ※申込みは不要です。直接展覧会場へお越しください。
 参加は無料ですが、入館料が必要です。